基本目標	施策の方向	取組	（具体的な）取組	実施見込・状況	R7事業の実績・推進状況	目標	計画策定前（R4）	実績（R7）	目標（R15）	担当課等
1．コミュニケーション支援 言葉の壁や文化・習慣の違いを乗り越えて、国籍にかかわらず誰もが安心・安全に暮らし、ともに活躍できるよう、やさしい日本語での対話を基本としつつ、外国人市民の日本語能力、情報の重要性・緊急性に応じた適切なコミュニケーション（会話、情報伝達）ができるよう日本語能力の向上等の必要な支援を行います。	**（1）日本語教育の推進**	01　日本語教室の開催	①　国際交流協会、大学等による日本語教室の実施	実施中	国際交流協会による初期日本語教室「はなそう　にほんご」及び「生活日本語」を支援することにより、在住外国人の生活に役立つ日本語の習得を支援した。 愛知教育大学に外国人児童生徒のための学習支援事業として負担金を支出し、日本語教室を実施した。	（日本語教室の）参加実人数	46人	88人	60人	市民協働課 学校教育課
		02　各種団体の日本語教室等の広報	①　国際プラザでのチラシ等の掲示・配架	実施中	愛知教育大学外国人児童生徒支援リソースルームによる「土曜親子日本語教室」、一般財団法人日本国際協力センターによる「しごとのための日本語」のチラシを国際プラザや市民協働課前の棚へ配架した。	―	―	―	―	市民協働課
			②　WebやSNSによる開催情報の提供	実施中	刈谷市内の日本語教室（国際交流協会親善ボランティア日本語支援グループ、スリーエス、愛知教育大学外国人児童生徒支援リソースルーム）の実施状況をホームページに掲載して広報した。外国人コミュニティのSNSを活用して広報した。	開催情報の提供	実施	実施	拡充	市民協働課
		03　日本語教育を担う人材の育成	①　国際交流協会等による日本語ボランティアの育成	実施中	国際交流協会の実施する「ボランティア研修会」により、国際交流協会親善ボランティア日本語グループのスキルアップや多文化共生への理解促進を図った。 また、初期日本語教室パートナー説明会により、ボランティア学習支援者の対話型日本語教室の理念や目的等に関する理解促進を図った。	ボランティア登録者数	173人	178人	220人	市民協働課
	（2）やさしい日本語の普及	04　職員に対するやさしい日本語の周知や研修の実施	①　やさしい日本語の周知と利用促進	実施中	「職員向け　国際化・多文化共生コミュニケーションハンドブック」を庁内職員ポータル等を活用して周知することで、やさしい日本語の利用を促進した。	―	―	―	―	市民協働課
			②　職員を対象とした外国人対応のためのやさしい日本語研修の実施	実施中	「外国人にも伝わるやさしい日本語」に関する基礎知識の理解を深めることで市民サービスの向上を目的とする講座を主に入庁3年目職員を対象に実施した。	研修受講人数（計画期間中の延べ人数）	研修未実施	33人	200人	市民協働課
		05　市民に対するやさしい日本語の周知	①　広報・外国人交流イベント等を通じたやさしい日本語の理解促進	実施中	市ホームページによりやさしい日本語に関する基礎知識を市民へ周知した。また、出前講座のメニューとして、「やさしい日本語とは」を新設した。	イベント等を通じた理解促進	未実施	実施	実施	市民協働課
	（3）行政サービスの多言語提供体制の構築	06　発信する情報の多言語化	①　市ホームページの多言語化	完了	市ホームページに、6か国語（英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・タガログ語・ベトナム語）への翻訳機能を備えることにより、多言語での情報発信を実施した。	―	―	―	―	広報広聴課
			②　重要行政情報の多言語発信	実施中	市公式ポータルアプリ「あいかり」にて、5か国語（英語・中国語・ポルトガル語・タガログ語・ベトナム語）による多言語での情報発信を実施した。 災害時における避難情報などの緊急情報を、メール配信サービスで多言語に自動翻訳し、登録者へお知らせした。	市が発信する多言語情報発信媒体への外国語での発信希望数	149件	289件	250件	広報広聴課 危機管理課
		07　市役所・各施設における通訳等	①　外国人相談員による市役所・各施設における手続き等のための通訳	実施中	外国人からの生活相談に応じるとともに市役所窓口等での通訳を行うため、外国人生活相談員を配置。 【生活相談実績】 タガログ語・英語　　2,180件 ポルトガル語　2,394件 中国語　　1,235件	相談員の対応言語数	4言語	4言語	5言語	くらし安心課
			②　通訳機器・アプリケーション、三者間通話、指さし会話シート等の整備・運用	実施中	貸出用ポケトークを3台配備。 避難所・福祉避難所等にコミュニケーション支援ボードを配備した　50箇所 外国人相談員不在時等にポケトークを活用し、外国人の各種手続きを支援した。 通訳者が保育園等へ訪問したり、タブレット内にある通訳機能を使用するなど、保護者や子どもとのコミュニケーションを支援した。（345回）	―	―	―	―	総務文書課 危機管理課 くらし安心課 子ども課
		08　行政サービスの多言語対応の総合的な体制づくり	①　多言語対応指針・マニュアルの作成・運用	翌年度以降に実施予定	「職員向け　国際化・多文化共生コミュニケーションハンドブック」を庁内職員ポータル等を活用して周知することで、やさしい日本語の利用を促進した。	指針・マニュアル作成	未作成	未作成	作成	市民協働課

基本目標	施策の方向	取組	（具体的な）取組	実施見込・状況	R7事業の実績・推進状況	目標	計画策定前（R4）	実績（R7）	目標（R15）	担当課等
2. 生活に関わる支援 多様な外国人市民を誰一人取り残さないよう、様々な困りごとに対する相談体制を構築するとともに、外国人市民の永住化に伴うライフステージに応じた情報提供を図ります。また、防災や医療等、命や健康リスクに関わる情報の提供体制を整備します。	**（1）誰一人取り残さない相談体制の構築**	09　外国人生活相談の充実	①　多言語による外国人生活相談の窓口の設置	実施中	外国人市民が母国語により生活相談を受けられる窓口を設置した。	外国人生活相談員の人数	3人	3人	4人	くらし安心課
			②　外国人相談員の相談能力の向上	翌年度以降に実施予定	「外国人市民のための困りごと相談つなぎ方ガイドin刈谷」について、外国人コミュニティと連携して外国語版を作成し、ホームページやSNSで周知した。	―	―	―	―	市民協働課
		10　多様な機関との連携による相談体制の構築	①　県等の外国人相談機関との連携体制の整備	実施中	愛知県等が実施する外国人相談サービスをチラシの配架等により在住外国人へ周知した。 出入国在留管理庁などの関係機関と連携を行った。	―	―	―	―	市民協働課 くらし安心課
			②　外国人市民の困りごと相談ガイドの整備・運用	実施中	外国人市民の困りごと相談ガイドについて、外国人コミュニティ（フィリピン・ベトナム・ブラジル）と連携し、多言語（英語、ベトナム語、ポルトガル語）のガイドを作成した。	相談ガイドの整備・運用	未実施	実施	実施	市民協働課
	（2）ライフステージに応じた生活の支援と異文化対応	11　子ども・子育て家庭への支援	①　出産・育児・保育サービスの多言語情報提供、異文化への対応	実施中	・児童手当の手続案内の通知について多言語対応（3ヵ国：英語、中国語、スペイン語）の文章を記載している。 ・保育サービスに関わる資料を通訳し、必要な家庭へ配布した。（108枚） ・市内の子育て支援施設において、ポケトークを活用することで、適切な支援を提供する。 （市内4か所） ・しげはら園において翻訳・通訳サービスを活用することで適切な療育を提供した。 ・行事への通訳の派遣（6行事） ・幼児園、小学校等他機関への通訳の派遣 ・外国語版母子健康手帳の交付（10か国語）。 ・乳幼児健康診査アンケート（5か国語）、予防接種予診票等の翻訳（4か国語）。 ・母子保健事業におけるポケトークや翻訳アプリの活用。	多言語情報提供、異文化への対応	実施	実施	拡充	子育て推進課 子育て支援課 子ども課
			②　外国人向け子育てサロン、母語教室、イベントの開催	翌年度以降に実施予定	国際交流協会やベトナム人コミュニティと連携して、母語教室の実施方法を検討した。	―	―	―	―	市民協働課
			③　困難を抱える外国人の子どもの把握と対応	実施中	学期ごとに主任児童委員と家庭児童相談員が学校や園を訪問し、家庭等の問題を抱えた児童の把握や支援につないでいる。 ヤングケアラー（外国籍の父母の通訳をにない等）の把握と支援を行った。（6小中学校） 経済的に困窮し、子どもを就学させることが困難な家庭に対し、「学校教育法第19条」の規定に基づき、就学に必要な費用の援助を行った。	―	―	―	―	子育て推進課 学校教育課
		12　教育・キャリア形成に関する支援	①　学校だより等配付資料の多言語化体制づくり	実施中	語学指導員を6名配置。 ポルトガル語・タガログ語（英語）・中国語・ベトナム語に対応した。 毎月通訳者が園だより等の配布資料を翻訳した。（12回）	―	―	―	―	学校教育課 子ども課
			②　日本語教育担当教員の配置と研修の実施	実施中	日本語適応担当教員を22人配置。 研修も年2回実施した。	研修の実施	実施	実施	実施（継続）	学校教育課
			③　プレスクール（就学支援）、プレクラス（日本語初期指導）の実施	実施中	2校に4名の語学相談員を配置し、プレスクールを設置した。 語学相談員はタガログ語とポルトガル語に対応した。 （プレスクール参加生徒数49人）	―	―	―	―	学校教育課
			④　ニーズに応じた外国人児童生徒語学指導員の配置と指導	実施中	語学指導員を6人配置。 ポルトガル語・タガログ語（英語）・中国語・ベトナム語に対応している。	語学指導員数	4人	6人	6人	学校教育課
			⑤　大学やNPOによる取り出し授業、放課後日本語教室への支援	実施中	NPOによる放課後日本語教室について、愛知県と連携して今後の教室の財源確保に関する検討を行った。 愛知県やブラジル教育省及びブラジルに所在する大学と連携したブラジル人児童への日本語学習支援プログラムを実施した。 愛知教育大学が実施する、日本語指導等、外国人児童生徒のための学習支援事業に対し、その費用を負担した。 令和8年3月現在33人が指導を受けた。	―	―	―	―	市民協働課 学校教育課
			⑥　外国人への教育等関連情報の提供	実施中	国際交流協会・愛知教育大学主催の日本語教室の案内を、必要な家庭に配布し、情報を提供した。（36園に配布） 外国籍の子どもたちのための進路説明会を実施。保護者も含めて、50人が参加した。	―	―	―	―	子ども課 学校教育課
			⑦　多言語の書籍・資料の充実	実施中	図書館及び国際プラザに多言語の書籍・漫画・絵本・資料等を充実させ、外国籍の利用者の読書意欲に応え、生涯学習に寄与した。（合計約200冊）	―	―	―	―	市民協働課 生涯学習課

基本目標	施策の方向	取組	（具体的な）取組	実施見込・状況	R7事業の実績・推進状況	目標	計画策定前（R4）	実績（R7）	目標（R15）	担当課等
	（3）医療・災害など命に関わる外国人対応	13 保健・福祉・介護分野に関する支援	① 保健・福祉・介護サービスの多言語情報提供、異文化への対応	実施中	健康で自立した生活を送ることができるよう、保健・福祉・介護分野における情報を各国の文化に配慮し、多言語で提供した。 ・生活困窮者支援における外国人からの相談件数：45件 介護保険料の臨戸訪問の際には、英語や中国語などに翻訳した訪問票を活用。 ・国民年金制度、福祉医療及び国民健康保険に関する外国語案内を配付した。 ・外国人相談員、ポケトーク及び遠隔手話サービス（みえる通訳）を活用した。 ・市ホームページにおいて、こころの相談に関するリンクを貼り、外国籍の市民等に向け外国語での相談窓口情報を周知した。	多言語情報提供、異文化への対応	実施	実施	拡充	生活福祉課 長寿課 国保年金課 健康推進課
			② 外国人に対する公営住宅の入居案内・入居支援	実施中	外国人相談員と連携し、入居案内や入居支援を行った。	―	―	―	―	建築課
		14 日本での生活の早期適応の支援	① 外国人市民ウェルカムパック（外国人が転入した際に配布する案内資料一式）」の配付	実施中	外国人が本市で生活する上で役立つ情報を掲載したチラシ（各外国人コミュニティのSNSの記載等）について、ごみの出し方や生活オリエンテーション、学校教育に関する内容を拡充して、市民課窓口において配布した。 転入した外国人市民が、本市での生活にスムーズに適応できるよう、必要な情報をわかりやすく多言語で提供した。	ウェルカムパックの配布	未実施	実施	実施	市民協働課 市民課
			② 国・県・NPO等が発信する各種多言語情報の周知	実施中	国際交流協会主催の生活に役立つ日本語を習得するための日本語教室の情報など、国・県・NPO等が発信する生活に役立つ情報を各外国人コニュニティへ周知し、各コミュニティからSNSを活用して発信した。	―	―	―	―	市民協働課
		15 医療における多言語対応	① 外国人に対応する病院情報の周知	実施中	市ホームページにおいて、あいち医療通訳システムに関するリンクを貼り、外国籍の市民等に外国人に対応する医療機関の情報を周知した。	―	―	―	―	市民協働課 健康推進課
			② 医療通訳に関する情報の周知	実施中	市ホームページにおいて、あいち医療通訳システムに関するリンクを貼り、外国籍の市民等に医療通訳情報を周知した。	医療通訳情報の周知	実施	拡充	拡充	市民協働課 健康推進課
		16 災害に関する外国人対応	① 外国人市民向けの防災に関する教育、情報提供	実施中	国際交流協会主催の生活に役立つ日本語を習得するための「生活日本語教室」において、外国人向けに防災に関する情報を提供した。（市職員が講師を担う。）	外国人市民向け防災講座参加者数	28人	24人	40人	市民協働課 危機管理課
			② 災害時における多言語での情報提供など外国人にも配慮した体制の整備	実施中	避難所運営マニュアルにおいて、要配慮者支援班による配慮を明記するとともに、「トイレを使うときの注意」の多言語での掲示物を配備した。（37箇所） 避難所・福祉避難所等にコミュニケーション支援ボードを配備した。（再掲） 災害時に外国人にも配慮した形で情報提供できる体制の整備について検討した。	―	―	―	―	市民協働課 危機管理課

基本目標	施策の方向	取組	（具体的な）取組	実施見込・状況	R7事業の実績・推進状況	目標	計画策定前（R4）	実績（R7）	目標（R15）	担当課等
3．共生に向けた教育と交流の推進 地域に外国人市民がいることが当たり前になってくることを踏まえ、外国人と日本人の相互理解が進んでいないことによるお互いの不安な気持ちを解消するため、地域、学校、公共施設など様々な場で、国際理解教育や多文化交流の機会充実を図ります。	**（1）国際理解教育の推進**	17 学校における国際理解教育の推進	① ワールド・スタディ講座の実施	実施中	校長会において、各学校へ講座を周知し、依頼のあった刈谷北高校国際探究科や亀城小学校の生徒に対し、講義やグループワークを通して、刈谷市の多文化共生施策、地域における多文化共生において大切なことや課題、地域と外国とのつながりなどに関する理解を深める講座を実施した。	講座を実施した学校数	1校	2校	2校	市民協働課 学校教育課
			② 総合的な学習などでの国際理解教育、多文化共生教育の実施	実施中	基礎教育を受ける学校において、異文化理解や多文化共生のスキルを身につけ、世界的な課題解決のために行動できる子どもを育てるために、国際理解教育を推進した。	—	—	—	—	学校教育課
		18 地域における国際理解教育の推進	① 国際理解講座の開催	実施中	国際交流協会において、国際理解のための講座やイベントを実施した。 ・チェコのクラシックギター演奏会 参加者：107人 ・「世界をのぞこう！」ネパール編 参加者：27人　小・中学生対象	講座の参加者数	41人	134人	80人	市民協働課
		19 多文化共生への意識啓発	① 地域における外国人の活躍や日本人との交流活動の周知	実施中	小垣江地域において、地域の外国人と日本人の交流の場の創出に取り組むボランティア団体「ワールドスマイルガーデン」「輪～るど・ビレッジ小垣江」の活動を地域住民に周知するための広報誌を作成し、ホームページ等で広報した。	周知のための広報件数	1件	1件	4件	市民協働課
	（2）多文化交流の促進	20 地域における多文化交流の促進	① モデル地区（一ツ木・小垣江地域）における多文化交流活動の支援	実施中	地域の外国人と日本人の交流の場の創出に取り組むボランティア団体である一ツ木地域の「ワールド・スマイル・ガーデン」による収穫祭等をはじめとした合同作業及び小垣江地域の「輪～るど・ビレッジ小垣江」の交流活動の実施に向けた検討を支援した。	多文化交流活動における参加人数・外国人割合	541人 43．6%	478人 23%	1，000人 45～55%	市民協働課
			② 新たな多文化交流活動の支援	翌年度以降に実施予定	現在、支援を実施している小垣江地域のボランティア団体「輪～るど・ビレッジ小垣江」が団体メンバーのみで運営できる体制に少しづつ向かっているので、新たな地域における多文化交流活動の創出について検討した。 【現在実施されている多文化交流活動】 ワールド・スマイル・ガーデン（一ツ木地域） 輪～るど・ビレッジ小垣江（小垣江地域）	交流活動が行われている地域の数	2地区	2地区	4地区	市民協働課
		21 国際プラザ等での多文化交流イベントの実施	① 外国人と日本人との交流イベントの開催	実施中	国際プラザを含む市民交流センターを会場として、外国人市民と日本人市民がお互いの文化や言葉等を知ることで、お互いを尊重して生活し、生き生きと楽しく生活できる社会をつくるための交流する場とすることを目的とした国際交流協会主催の「多文化交流フェスタ in刈谷」の開催を支援した。 ミササガパークにおいて、東海地方に住むカナダ人と一緒にカナダデーをお祝いし、カナダ文化を体験しながら、小さなお子様から大人まで楽しんでいただくことを目的としたカナダ・ミササガフェアを開催。（カナダで人気のスポーツであるストリートホッケー体験やカナダやミササガにちなんだクイズラリーなどを実施）	イベント参加者数	300人（R1）	800人	1，000人	市民協働課
			② 各国の現状・文化などの情報収集と発信	実施中	国際交流協会親善ボランティアが実施する外国人と日本人が交流するイベント（異文化交流会・マレーシア）について、広報誌により発信した。	—	—	—	—	市民協働課
	3）都市間交流・国際貢献	22 姉妹都市交流	① ミササガ市民団等受入・ミササガへの市民派遣	翌年度以降に実施予定	ミササガ市副市長マット・マホーニー氏とミササガ市職員が刈谷を訪問した際に、施設見学と歓迎レセプションを行った。また、ミササガ市の都合により、市民団の受入は実施しなかった。	市民団等受入・市民派遣	実施（R1）	未実施	実施（継続）	市民協働課
		23 先進的取組の発信	① 市内外への先進的取組の積極的発信	実施中	地域の外国人と日本人の交流の場の創出に取り組むボランティア団体である一ツ木地域「ワールド・スマイル・ガーデン」の活動について広報誌を作成し、ホームページやSNSで発信した。	先進的取組の発信	実施	拡充	拡充	市民協働課
		24 国際貢献	① 国際貢献の取組の実施	実施中	国際プラザに外貨募金箱を設置し、随時、募金を受け付けた。	国際貢献の取組	実施	実施	実施（継続）	市民協働課

基本目標	施策の方向	取組	（具体的な）取組	実施見込・状況	R7事業の実績・推進状況	目標	計画策定前（R4）	実績（R7）	目標（R15）	担当課等
4. グローカル人材の参画促進と関係団体との連携強化 ◇年齢構成が若く多様な価値観を持つ外国人市民や、海外赴任経験のある企業の社員及びNGO スタッフなどのグローカル人材を重要なリソースパーソン と位置づけ、地域、学校、公共施設など様々な場における国際化・多文化共生の取組に参画できるような機会の創出や仕組づくりを行います。また、刈谷市国際交流協会、外国人コミュニティ、企業等と理念を共有し、連携して活動に取り組みます。	**（1）グローカル人材の活躍促進** ※「グローカル人材」とは、刈谷市に住む外国人、世界で活躍した経験のある刈谷市民のこと	25　外国人市民の行政・地域活動への参画促進	①　外国人市民への自治会組織の周知と行事への参加促進	実施中	多言語版（中国語・英語・ポルトガル語）自治会加入チラシについて、自治連合会議で周知することで、外国人市民に対して自治会組織の周知と行事への参加を促進した。 多文化共生のための交流活動を実施しているコミュニティガーデン（ワールド・スマイル・ガーデンや輪～る・ど・ビレッジ小垣江）が地域の自治会主催行事へ参加した。 また、外国人市民が多い地域の自治会長から外国人市民の自治会行事への参加状況を聞き取りして、自治会と外国人コミュニティとの連携などについて、検討した。	—	—	—	—	市民協働課
			②　外国人市民を多文化共生推進委員へ委嘱	実施中	多文化共生社会の実現に向けて、第2次刈谷市多文化共生推進計画を推進するに当たり、市民及び関係機関の意見を反映させるための刈谷市多文化共生推進委員会に外国人委員4名を前年度から継続して委嘱した。	外国人の委員数	4人	4人	4人（維持）	市民協働課
		26　グローカル人材の活躍促進	①　グローカル人材による国際理解教育の実施	実施中	国際理解推進を目的とした各学校で実施するワールド・スタディ講座を実施するとともに、国際交流協会が実施する国際理解促進に寄与する講座・イベントの実施を支援した。 【実施】 ワールドスタディ講座（2） ワールド・スマイル・ガーデン収穫祭（4） 世界をのぞこう（1） 多文化交流フェスタin刈谷（1） 合計　8回	グローカル人材による講座・イベントの実施回数	5回	8回	10回	市民協働課 学校教育課
			②　交流イベントへの外国人市民の参画促進	実施中	国際交流協会が実施する「多文化交流フェスタin刈谷」等の交流イベントについて、各外国人コミュニティ（フィリピン、ベトナム、ブラジル）に対して参加を促進し、3団体がイベントに参加した。ベトナム人コミュニティによるミササガパークでの中秋祭（ベトナムの祝日を祝う祭り）開催を支援した。	—	—	—	—	市民協働課
	（2）外国人コミュニティへの支援と連携	27　外国人コミュニティ支援	①　各国の外国人コミュニティへの支援	実施中	ミーティングを開催し、ベトナム人コミュニティ主催の母国の祝日を祝うイベントの開催支援やブラジル人コミュニティによる生活に役立つ動画や母国の祝日を祝う動画の作成・発信の支援を行った。 【実施見込】 ミーティング開催　11回	外国人コミュニティへの支援	実施	実施	実施（継続）	市民協働課
		28　外国人コミュニティとの連携	①　外国人市民との相互ネットワークづくり	実施中	外国人コニュニティのメンバーと協力して、SNS活用した外国人市民への情報発信を実施した。「外国人市民のための困りごと相談つなぎ方ガイドin刈谷」を活用した同じ国籍の人同士での相談体制の整備に関する検討を行った。	—	—	—	—	市民協働課
			②　相談支援における「つなぎびと」としての活躍支援	翌年度以降に実施予定	在住外国人が同じ国籍の人の困りごとに対して「つなぎびと」として相談に乗るにあたって、相談対応に役立てるための「外国人市民の困りごと相談ガイド」の多言語版を作成した。	「つなぎびと」の人数	0人	0人	10人	市民協働課
	（3）関係団体との連携強化	29　国際交流協会との連携強化	①　国際プラザの管理、認知度・利用度の向上	実施中	国際交流・多文化共生に関係する団体による会議室、交流室及びラウンジ等の利用を適切に管理するとともに、「多文化交流フェスタin刈谷」やチェコのクラシックギター演奏会など国際プラザを使用したイベント等に対して、LINEなどのSNSを活用し、広報に努めることで、認知度の向上に努めた。	国際プラザ利用者（年間延べ人数）	6，780人	9，858人	11，000人	市民協働課
			②　国際交流協会の事業実施体制の整備	翌年度以降に実施予定	刈谷にぎわいオフィスが実施するにぎわい連絡会などの場において、国際交流協会と刈谷にぎわいオフィスとの連携などに関して情報交換を行った。 国際交流協会の事業実施体制及び職員の働き方について検討した。	—	—	—	—	市民協働課
		30　企業との連携	①　企業社員等の多文化交流活動への参画促進	実施中	国際交流協会主催の「多文化交流フェスタin刈谷」や「日本語教室ボランティア」、「初期日本語教室パートナー」など、企業社員へボランティアへの参加を働きかけた。また、ワールデンとアイシン学園が連携し、継続的に海外研修生が活動に参加した。	—	—	—	—	市民協働課
			②　外国人従業員雇用企業とのネットワークづくり	実施中	外国人従業員が多く勤務している企業に対して、国際交流・多文化共生に関するイベント等の企業内広報を依頼し、ネットワークづくりを進めた。 【実施見込】 日本語教室　4社 多文化交流フェスタ　4社	多文化共生イベント等に関する企業内広報への協力企業数	0社	4社	10社	市民協働課